

3 教科等の目標一覧表

目標一覧表の活用について



目標一覧表は、各学年の目標を教科等別に一覧にまとめて整理したものです。各学年で目標がどのように変化するか、主な個所を**太字**と**下線**で強調しています。育成を目指す資質・能力には、幼児期から中3まで、どのような系統性があるのか確認することができます。

上段の欄は、中学校区で協議した各教科等の重点目標を書き込む欄です。

中学校区の重点目標									
幼児期	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
知識及び技能の基礎	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする。	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。					社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。		
思考力、判断力、表現力等の基礎	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを伝えることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを伝えることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを伝えることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを伝えることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを伝えることができるようにする。	論理的に考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを伝えることができるようにする。	論理的に考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを伝えることができるようにする。	論理的に考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを伝えることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。	言葉がもつ価値を感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に思い、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	言葉がもつ価値を感じるとともに、楽しんで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	言葉がもつ価値を感じるとともに、楽しんで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	言葉がもつ価値を感じるとともに、楽しんで読書をし、我が国の言語文化を大切に思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	言葉がもつ価値を感じるとともに、楽しんで読書をし、我が国の言語文化を大切に思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	言葉がもつ価値を感じるとともに、楽しんで読書をし、我が国の言語文化を大切に思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	言葉がもつ価値を感じるとともに、楽しんで読書をし、我が国の言語文化を大切に思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	言葉がもつ価値を感じるとともに、楽しんで読書をし、我が国の言語文化を大切に思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

横のつながりは、育成を目指す資質・能力の幼児期から中3までの系統性を示しています。太字と下線で強調した箇所注目することで、系統性が把握しやすくなります。

1 国語

中学校区の重点目標											
	幼児期		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
知識及び技能の基礎	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする。	知識及び技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。						社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。		
思考力、判断力、表現力等の基礎	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	思考力、判断力、表現力等	順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		
学びに向かう力、人間性等	心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			

2 社会

中学校区の重点目標									
	幼児期		小3	小4	小5	小6	地理的分野	歴史的分野	公民的分野
知識及び技能の基礎	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるように なったりする。	知識及び技能	身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。	自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の政治の考え方や仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域の特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

	幼児期		小3	小4	小5	小6	地理的分野	歴史的分野	公民的分野
思考力、判断力、表現力等の基礎	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	思考力、判断力、表現力等	社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。	社会的事象の特色や相互の関連、意味を 多角的に 考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを 説明したり、それらを基に議論したりする力 を養う。			地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて 公正に選択・判断 したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。	学びに向かう力、人間性等	社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。	社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、 多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚 を養う。	社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、 多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚 を養う。		日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする ことの大切さについての自覚などを深める。	歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする ことの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。	現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3 算数／数学

中学校区の重点目標

	幼児期		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
知識及び技能の基礎	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする。	知識及び技能	数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにある量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	数の表し方、整数の計算の意味と性質、小数及び分数の意味と表し方、基本的な図形、量の概念、棒グラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数などの計算をしたり、図形を構成したり、長さや重さなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	小数及び分数の意味と表し方、四則の関係、平面図形と立体図形、面積、角の大きさ、折れ線グラフなどについて理解するとともに、整数、小数及び分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や角の大きさを求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	整数の性質、分数の意味、小数と分数の計算の意味、面積の公式、図形の意味と性質、図形の体積、速さ、割合、帯グラフなどについて理解するとともに、小数や分数の計算をしたり、図形の性質を調べたり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解したり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y = ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

	幼児期		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
思考力、判断力、表現力等の基礎	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	思考力、判断力、表現力等	ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを養う。	数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり考察したりする力などを養う。	数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだし、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを養う。	数とその表現や計算の意味に着目し、目的に合った表現方法を用いて数の性質や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだし、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを養う。	数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだし、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力などを養う。	数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。	
			学びに向かう力、人間性等	数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	数量や図形に <u>進んで関わり</u> 、数学的に表現・処理したことを <u>振り返り、数理的な処理のよさに気付く</u> 生活や学習に活用しようとする態度を養う。	数学的に表現・処理したことを振り返り、 <u>多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付く学習したことを生活や学習に活用しようとする態度</u> を養う。	<u>数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度</u> 、多面的に捉え考えようとする態度を養う。	<u>数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度</u> 、多面的に捉え考えようとする態度を養う。			

4 理科（A物資・エネルギー）

中学校区の重点目標							
	幼児期		小3 物質・エネ	小4 物質・エネ	小5 物質・エネ	小6 物質・エネ	中学校 第1分野
知識及び技能の基礎	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようにする。	知識及び技能	物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	空気、水及び金属の性質、電流の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等の基礎	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	思考力、判断力、表現力等	物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路について追究する中で、 <u>主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を養う。</u>	空気、水及び金属の性質、電流の働きについて追究する中で、 <u>主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力を養う。</u>	物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力について追究する中で、 <u>主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力を養う。</u>	燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気の性質や働きについて追究する中で、 <u>主にこれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。</u>	物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。	学びに向かう力、人間性等	物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質及び電気の回路について追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	空気、水及び金属の性質、電流の働きについて追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力について追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気の性質や働きについて追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。	物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。

4 理科 (B生命・地球)

	幼児期		小3 生命・地球	小4 生命・地球	小5 生命・地球	小6 生命・地球	中学校 第2分野
知識及び技能の基礎	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようにする。	知識及び技能	身の回りの生物、太陽と地面の様子についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等の基礎	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	思考力、判断力、表現力等	身の回りの生物、太陽と地面の様子について追究する中で、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力を養う。	人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星について追究する中で、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を養う。	生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性について追究する中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力を養う。	生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で、主にそれらの働きや関わり、変化及び関係について、より妥当な考えをつくりだす力を養う。	生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。	学びに向かう力、人間性等	身の回りの生物、太陽と地面の様子について追究する中で、生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。	人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星について追究する中で、生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。	生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性について追究する中で、生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。	生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で、生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。	生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。

5 生活

中学校区の重点目標

幼児期		第1学年及び第2学年		学校、家庭及び地域の生活に関する目標	身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する目標	自分自身の生活や成長に関する目標
の知基・礎技	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする。	の知基・礎技	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。	学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気付き、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしるようにする。	身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。	自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活するようにする。
表思の・基判礎・	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	表思の・基判礎・	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。			
人間性 等	心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。	人間性 等	身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。			

小学校入学時から1学期の終わりまでに身に付けたいこと

生活する力

- 休み時間中にトイレ・水飲みなど必要なことを済ませる。
- 学校のトイレを使用し、一人で排泄する。 ○安全に気を付けて遊ぶ。
- ハンカチやティッシュなどを携帯して、必要に応じて使用する。
- 決められた場所や時間で着替え、脱いだ衣服等の整理整頓をする。
- 自分の席に姿勢よく座り、前を向いて教師の話を聞く。 ○元氣な挨拶と返事ができる。
- ☆通学班、安全に注意しながら登下校する。 ☆日直や当番の仕事が分かり、忘れずに行う。
- ☆チャイムの合図で、次の活動に移行するための気持ちの切り替えと学習準備を整える。
- ☆自分で道具箱(引き出し)にしまうものと、ロッカーなどにしまうものが分かる。
- ☆教室、職員室、保健室の場所が分かる。 ☆給食の仕方が分かって、楽しく食べる。
- ☆給食の身支度を整え、友だちと協力して配膳や片付けをする。 ☆背の順、名前順などで並ぶ。
- ◇靴箱のかかとをそろえる。 ◇教室内の掲示や板書を見て、次時や翌日の準備などが分かる。
- ◇自分たちの教室や廊下を自分たちで協力して清掃する。
- ◇自分の食べられる量が分かる。 ◇学級集団で一日中(午前・午後)過ごす。

人と関わる力

- よいことと悪いことに気付き、行動する。(きまりや約束を守る)
- 上級生に親しみをもち、あこがれの気持ちを持って接する。
- 先生等の指示を聞いて、行動に移す。
- ☆担任の先生や学年の先生が分かる。
- ☆学校に関わりを持つ教職員と、挨拶や話をする。
- 困っていることを、担任や養護教諭などに自分から伝える。
- ◇授業中や集会などで、話をしている人の顔を見ながら、黙って話を聞く。
- ◇学級等の集団の前で、自分の考えなどを話す。

○...幼児期で身に付けていると思われること(個別支援)
☆...学習後、見守りと見届けが必要なこと(全体指導から個別支援へ)
◇...児童の力で身に付けるよう、環境を整えること

自ら学ぶ力

- 授業中、先生の話をよく聞き、指示された活動をする。
- 文字や数に対する興味を持って学習に臨む。 ○見たものや想像したことを簡単な絵や図で表す。
- 外で体を動かすことの気持ちよさが分かり、運動する。
- 動きを工夫したりして、けがの防止に努める。 ○楽しみながら、歌う。
- ☆学習のきまり(学習規律)を守って思いや考えを出し合う。 ☆宿題を毎日忘れずにやってくる。
- ☆ひらがなが読め、書いてあることのおおよそが分かる。
- ☆ブロックやおはじきなど、手を使って細かい作業をし、それらをもとに、考えを深めたり、学習に結び付けたりする。
- ☆20までの数が分かり、数字が正しく書ける。
- ☆繰り上がりのないたし算、繰り下がりのないひき算ができる。 ☆はさみやのりを正しく使う。
- ◇学習したことをわからないままにせず、わかるまで質問したり周りの人に手伝ってもらったりしながら取り組む。

3年生で見られる姿(例)

- ・一日の生活を見通し、やるべきことを自覚して行う。
- ・安全な場所や遊び方等が分かり、安全に気を付けて登校したり遊んだりする。
- ・調理士や栄養教諭など給食に関わっている人の苦勞や気持ちが分かり、皆で大切に育てた植物の貴重さを分かって食べようとする。
- ・安全に活動したり、安心して生活したりするためにはルールやきまりがあることを知る。
- ・必要に応じて手洗いやうがい、歯磨きなど身の回りの清潔を心掛ける。
- ・よいことと悪いことを区別し、よいと思うことを進んで行う。
- ・豊かに生活したり活動したりするために、ルールやきまりを見直したり、つくったりする。
- ・身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。
- ・好き嫌いにとらわれずに接する。
- ・友達と目標を共有し、思いや考えを巡らせながら力を合わせてやり遂げようとする。
- ・家族などお世話になっている人に感謝する。
- ・生きていることの素晴らしさを知り、生命を大切にする。
- ・美しいものに触れ、すがすがしい気持ちになる。
- ・文字や読み物、数量や図形に進んで関わり、これまで学んできたことをもとに学習や生活に生かそうとする。
- ・きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、健康・安全に気を付けて意欲的に運動する。
- ・問題を解決するために手順や順番を考えたり、計画を立てたりする。
- ・楽しく音楽や造形に関わり、その経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする。

6 音楽

中学校区の重点目標

	幼児期		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2・中3
知識及び技能の基礎	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かちあったり、できるようになる。	知識及び技能	曲想と音楽の構造などとの関わりについて 気付くとともに、 <u>音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。</u>	曲想と音楽の構造などとの関わりについて 気付くとともに、 <u>表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。</u>	曲想と音楽の構造などとの関わりについて 理解するとともに、 <u>表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。</u>	曲想と音楽の構造などとの関わりについて 理解するとともに、 <u>表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。</u>	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について 理解するとともに、 <u>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</u>	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について 理解するとともに、 <u>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</u>		
思考力、判断力、表現力等の基礎	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	思考力、判断力、表現力等	音楽表現を考えて <u>表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。</u>	音楽表現を考えて <u>表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。</u>	音楽表現を考えて <u>表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。</u>	音楽表現を <u>創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</u>	曲にふさわしい音楽表現を <u>創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</u>			
学びに向かう力、人間性等	心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。	学びに向かう力、人間性等	<u>楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。</u>	<u>進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。</u>	<u>主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。</u>	<u>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</u>	<u>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</u>			

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2・中3
A 表現 【音楽づくり／創作】	・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)をできるようにすること。 (ア) 音遊び を通して、音楽づくりの発想を得ること。 (イ) どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもつ ことができるようにする。	・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)をできるようにすること。 (ア) 即興的に表現すること を通して、音楽づくりの発想を得ること。 (イ) 音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図 をもつこと。	・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)をできるようにすること。 (ア) 即興的に表現すること を通して、音楽づくりの様々な発想を得ること。 (イ) 音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図 をもつこと。	・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)をできるようにすること。 (ア) 即興的に表現すること を通して、音楽づくりの様々な発想を得ること。 (イ) 音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図 をもつこと。	・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)をできるようにすること。 (ア) 即興的に表現すること を通して、音楽づくりの様々な発想を得ること。 (イ) 音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図 をもつこと。	・音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)をできるようにすること。 (ア) 即興的に表現すること を通して、音楽づくりの様々な発想を得ること。 (イ) 音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図 をもつこと。	・創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 創作表現 を創意工夫すること。	・創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、 まとまりのある創作表現 を創意工夫すること。
	・次の(ア)及び(イ)について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて 気付く こと。 (ア) 声や身の回りの様々な音 の特徴 (イ) 音やフレーズの つなげ方 の特徴	・次の(ア)及び(イ)について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて 気付く こと。 (ア) いろいろな音の響きやそれらの組合せ の特徴 (イ) 音やフレーズの つなげ方や重ね方 の特徴。	・次の(ア)及び(イ)について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて 理解 すること。 (ア) いろいろな音の響きやそれらの組合せ の特徴 (イ) 音やフレーズの つなげ方や重ね方 の特徴	・次の(ア)及び(イ)について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて 理解 すること。 (ア) いろいろな音の響きやそれらの組合せ の特徴 (イ) 音やフレーズの つなげ方や重ね方 の特徴	・次の(ア)及び(イ)について、表したいイメージと関わらせて理解すること。 (ア) 音のつながり方 の特徴 (イ) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照 などの構成上の特徴	・次の(ア)及び(イ)について、表したいイメージと関わらせて理解すること。 (ア) 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方 の特徴 (イ) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照 などの構成上の特徴		
	・発想を生かした表現や、 思い に合った表現をするために必要な次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。 (ア) 設定した条件に基づいて、即興的に 音を選んだりつなげたりして表現する技能 (イ) 音楽の仕組みを用いて、 簡単な音楽 を作る技能	・発想を生かした表現や、 思いや意図 に合った表現をするために必要な次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。 (ア) 設定した条件に基づいて、即興的に 音を選択したり組み合わせたりして表現する技能 (イ) 音楽の仕組みを用いて、 音楽をつくる技能	・発想を生かした表現や、 思いや意図 に合った表現をするために必要な次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。 (ア) 設定した条件に基づいて、即興的に 音を選択したり組み合わせたりして表現する技能 (イ) 音楽の仕組みを用いて、 音楽をつくる技能	・発想を生かした表現や、 思いや意図 に合った表現をするために必要な次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。 (ア) 設定した条件に基づいて、即興的に 音を選択したり組み合わせたりして表現する技能 (イ) 音楽の仕組みを用いて、 音楽をつくる技能	・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽を作るために必要な、 課題や条件に沿った音の選択や組合せ などの技能を身に付けること。	・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽を作るために必要な、 課題や条件に沿った音の選択や組合せ などの技能を身に付けること。		
B 鑑賞	・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の 楽しさ を見だし、曲全体を味わって聴くこと。	・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の よさ などを見だし、曲全体を味わって聴くこと。	・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の よさ などを見だし、曲全体を味わって聴くこと。	・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の よさ などを見だし、曲全体を味わって聴くこと。	・鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて自分なりに考え、音楽の よさや美しさ を味わって聴くこと。 (ア) 曲や演奏に対する 評価とその根拠 (イ) 生活や社会における 音楽の意味や役割 (ウ) 音楽表現の 共通性や固有性	・鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽の よさや美しさ を味わって聴くこと。 (ア) 曲や演奏に対する 評価とその根拠 (イ) 生活や社会における 音楽の意味や役割 (ウ) 音楽表現の 共通性や固有性		
	・ 曲想と音楽の構造との関わりについて気付く こと。	・ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付く こと。	・ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解 すること。	・ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解 すること。	・次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。 (ア) 曲想と音楽の構造との関わり (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性	・次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。 (ア) 曲想と音楽の構造との関わり (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性		
共通事項	・音楽を形づくっている 要素を聴き取り 、それらの働きが生み出す よさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考える こと。	・音楽を形づくっている 要素を聴き取り 、それらの働きが生み出す よさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考える こと。	・音楽を形づくっている 要素を聴き取り 、それらの働きが生み出す よさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考える こと。	・音楽を形づくっている 要素を聴き取り 、それらの働きが生み出す よさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考える こと。	・音楽を形づくっている 要素や要素同士の関連を知覚し 、それらの働きが生み出す 特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える こと。	・音楽を形づくっている 要素や要素同士の関連を知覚し 、それらの働きが生み出す 特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える こと。		
	・音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる 身近な音符、休符、記号や用語 について、音楽における働きと関わらせて理解すること。	・音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる 音符、休符、記号や用語 について、音楽における働きと関わらせて理解すること。	・音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる 音符、休符、記号や用語 について、音楽における働きと関わらせて理解すること。	・音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる 音符、休符、記号や用語 について、音楽における働きと関わらせて理解すること。	・音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる 用語や記号 などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。	・音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる 用語や記号 などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。		

7 図画工作／美術／技術・家庭（技術分野）

中学校区の重点目標											
	幼児期		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2・中3	技術分野
知識及び技能の基礎	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする。	知識及び技能	対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。	対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。	対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。					生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
思考力、判断力、表現力等の基礎	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	思考力、判断力、表現力等	造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。					生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
学びに向かう力、人間性等	心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。	学びに向かう力、人間性等	楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。	進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。					よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

8 家庭／技術・家庭（家庭分野）

中学校区の重点目標

	幼児期		小5	小6	技術分野	家庭分野
知識及び技能の基礎	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする。	知識及び技能	家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。		生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等の基礎	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	思考力、判断力、表現力等	日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。		生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
学びに向かう力、人間性等	心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。	学びに向かう力、人間性等	家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。		よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

9 体育／保健体育

中学校区の重点目標

幼児期		小1及び小2	小3及び小4	小5及び小6	中1及び中2	中3
知識及び技能の基礎	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする。	知識及び技能 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、 基本的な動きを身に付けるようにする。	各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、 基本的な動きや技能を身に付けるようにする。	各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、 各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。	運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、 運動を豊かに実践することができるようになるため、 運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、 生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようになるため、 運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
	思考力、判断力、表現力等の基礎 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	思考力、判断力、表現力等 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、 考えたことを他者に伝える力を養う。	自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、 その解決のための方法や活動を工夫するとともに、 考えたことを他者に伝える力を養う。	自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、 その解決のための方法や活動を工夫するとともに、 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動についての自己の課題を発見し、 合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動についての自己や仲間の課題を発見し、 合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
	学びに向かう力、人間性等 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。	学びに向かう力、人間性等 各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、 健康・安全に留意したりし、 意欲的に運動をする態度を養う。	各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、 友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、 最後まで努力して運動をする態度を養う。 また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。	各種の運動に積極的に取り組み、 約束を守り助け合って運動をしたり、 仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、 自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。 また、健康・安全の大切さに気付き、 自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、 健康・安全に留意し、 自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、 健康・安全を確保して、 生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

10 外国語活動・外国語／外国語

中学校区の重点目標							
	幼児期		小3	小4	小5	小6	中学校
知識及び技能の基礎	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする。	知識及び技能	外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。		外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付く、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。		外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等の基礎	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	思考力、判断力、表現力等	身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
学びに向かう力、人間性等	心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。	学びに向かう力、人間性等	外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	小3	小4	小5	小6	中学校
聞くこと	ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。		ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。		はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。
	ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。		ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。		はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。
	文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。		ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。		はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。
読むこと			活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。		日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。
			音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。		日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。
					社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。
話すこと（やり取り）	基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。		基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。		関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。
	自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。		日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。		日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。
	サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。		自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。		社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。
話すこと（発表）	身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。		日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。		関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。
	自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。		自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。		日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。		身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。		社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。
書くこと			大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。		関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。
			自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。		日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。
					社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

11 特別の教科 道徳

中学校区の重点目標

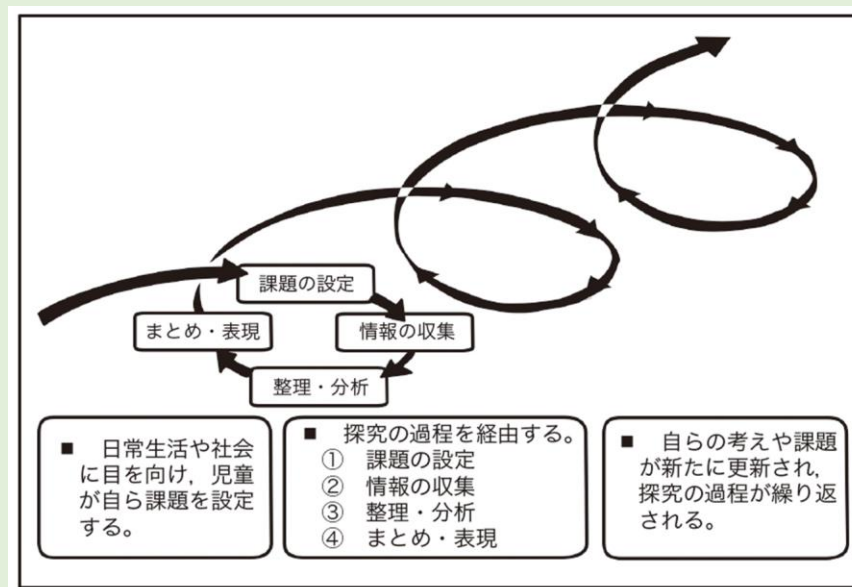
幼児期		小学校	中学校
知識及び技能の基礎	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする。	第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を 多面的・多角的に考え、自己の生き方 についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。	第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
	思考力、判断力、表現力等の基礎	【参考】 第1章総則の第1の2の(2) 道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とすること。 ●道徳的諸価値について理解する。 ・内容項目を、人間としてよりよく生きる上で大切なことであると理解する。 ・道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さなどを理解する。 ・道徳的価値を実現したり、実現できなかったりする場合の感じ方、考え方は一つではない、多様であるということを前提として理解する。 ・道徳的価値が人間らしさを表すものであることに気付き、価値理解と同時に人間理解や他者理解を深める。 ●物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める。 ・自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、更に考えを深める。 ・自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする。 ・他者と対話したり協働したりしながら、物事を多面的・多角的に考える。 ・価値理解と同時に人間理解や他者理解を深め、更に自分で考えを深め、判断し、表現する力を育む。	【参考】 第1章総則の第1の2の(2) 道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とすること。 ●道徳的諸価値について理解する。 ・道徳的価値の意味を捉えること、またその意味を明確にしていく。 ・道徳的諸価値が人間としてのよさを表すものであることに気付き、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に根ざした自己理解や他者理解、人間理解、自然理解へとつなげていく。 ・特定の道徳的価値を絶対的なものとして考えたり、本来実感を伴って理解すべき道徳的価値のよさや大切さを観念的に理解したりすることに終始しないようにする。 ●自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める。 ・真摯に自己と向き合い、自分との関わりで改めて道徳的価値を捉え、一個のかけがえない人格としてその在り方や生き方など自己理解を深めていく。 ・よりよく生きていく上で道徳的価値を発展させていくことへの思いや課題に気付き、自己や社会の未来に夢や希望がもてるようにする。 ・諸事象の背景にある道徳的諸価値の多面性に着目させ、様々な角度から総合的に考察すること、いかに生きるか主体的に考えることの大切さを理解する。
	学びに向かう力、人間性等	●よりよく生きるための基盤となる道徳性、自己を見つめ、自己の生き方についての考えを深める。 ・これまでの自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、さらに考えを深める。 ・自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする。 ・道徳的価値に関わる事象を自分自身の問題として受け止める。 ・他者の多様な考え方や感じ方に触れることで身近な集団の中で自分の特徴などを知り、伸ばしたい自己を深く見つめられるようにする。 ・これからの生き方の課題を考え、それを自己の生き方として実現していこうとする思いや願いを深める。	●よりよく生きるための基盤となる道徳性、自己を見つめ、人間としての生き方についての考えを深める。 ・人間についての深い理解と、これを鏡として行為の主体としての自己を深く見つめることとの接点に、生き方についての深い自覚を育む。 ・主体的な判断に基づく適切な行為の選択や、よりよく生きていこうとする道徳的実践へつなげていく。 ・様々な指導内容から生徒が人間としての生き方について考えを深められるよう育む。

12 総合的な学習の時間

中学校区の重点目標

幼児期		小学校第3学年 ～ 中学校第3学年	
知識及び技能の基礎	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする。	知識及び技能	探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
思考力、判断力、表現力等の基礎	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	思考力、判断力、表現力等	実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。	学びに向かう力、人間性等	探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

探究的な学習における児童生徒の学習の姿



「ふるさと草加学習」に関する各期における目標

幼児期	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
身近な環境と関わる中で、発見することを楽しんだり、考えたりできるようにする。	身近な環境を題材とした体験的な学習を繰り返す中で、地域への興味や関心をもてるようにする。	体験的な学習を通して、地域の人的・物的資源と関わりとともに、探究的な学習を通して地域への理解を深める。	地域の人的・物的資源を活用して探究的な学習に取り組むことを通して、地域への理解を深めるとともに、地域の一員としての自覚を育む。	地域の一員であることを自覚し、地域に誇りと愛着をもてるようにするとともに、広い視野で地域を見つめ直す中で理解を深め、その魅力を発信できるようにする。

13 特別活動

中学校区の重点目標

	幼児期		小学校	中学校
知識及び技能の基礎	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする。	知識及び技能	多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (学級活動の目標) 学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすること、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (学級活動の目標) 学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすること、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
思考力、判断力、表現力等の基礎	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	思考力、判断力、表現力等	(児童会活動の目標) 異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 (クラブ活動の目標) 異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようになる。 (生徒会活動の目標) 異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
学びに向かう力、人間性等	心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。	学びに向かう力、人間性等	自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。 (学校行事の目標) 全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。 (学校行事の目標) 全校又は学年の生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。